

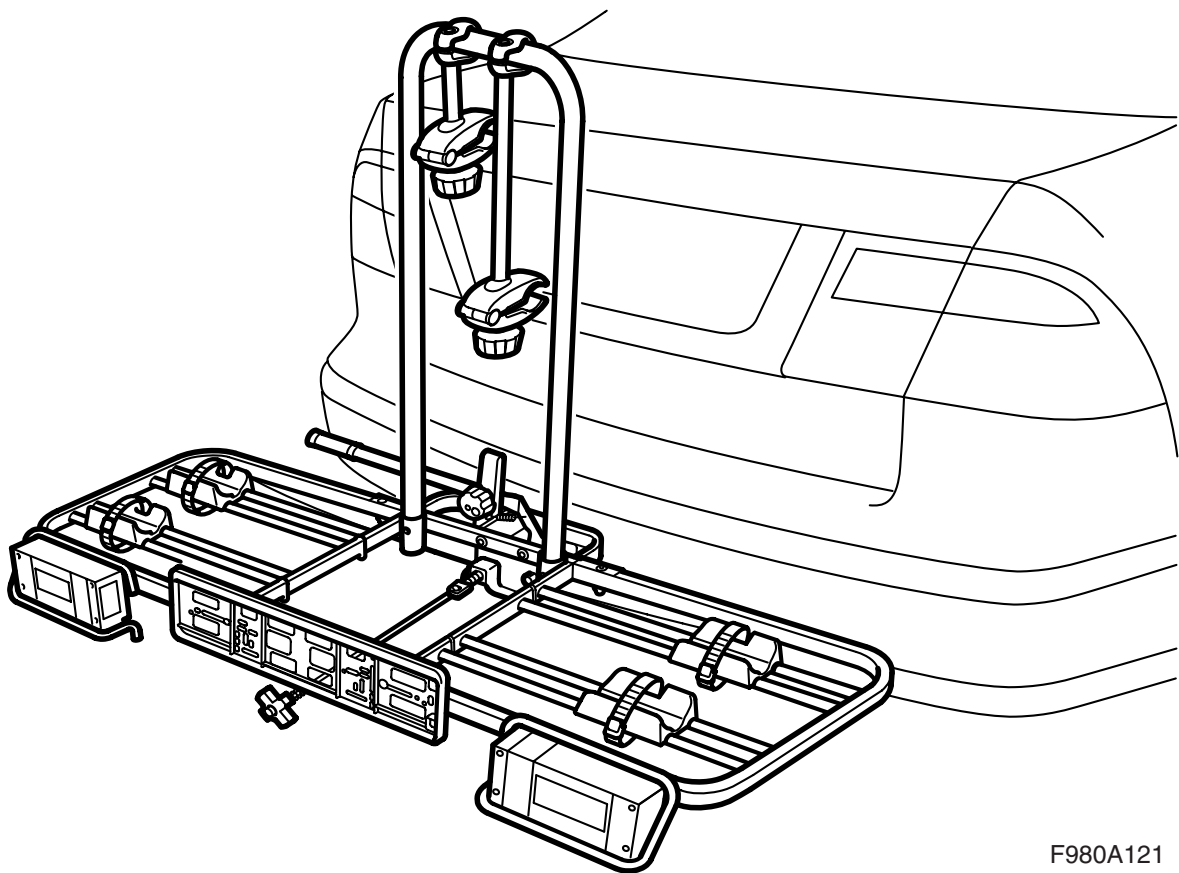


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

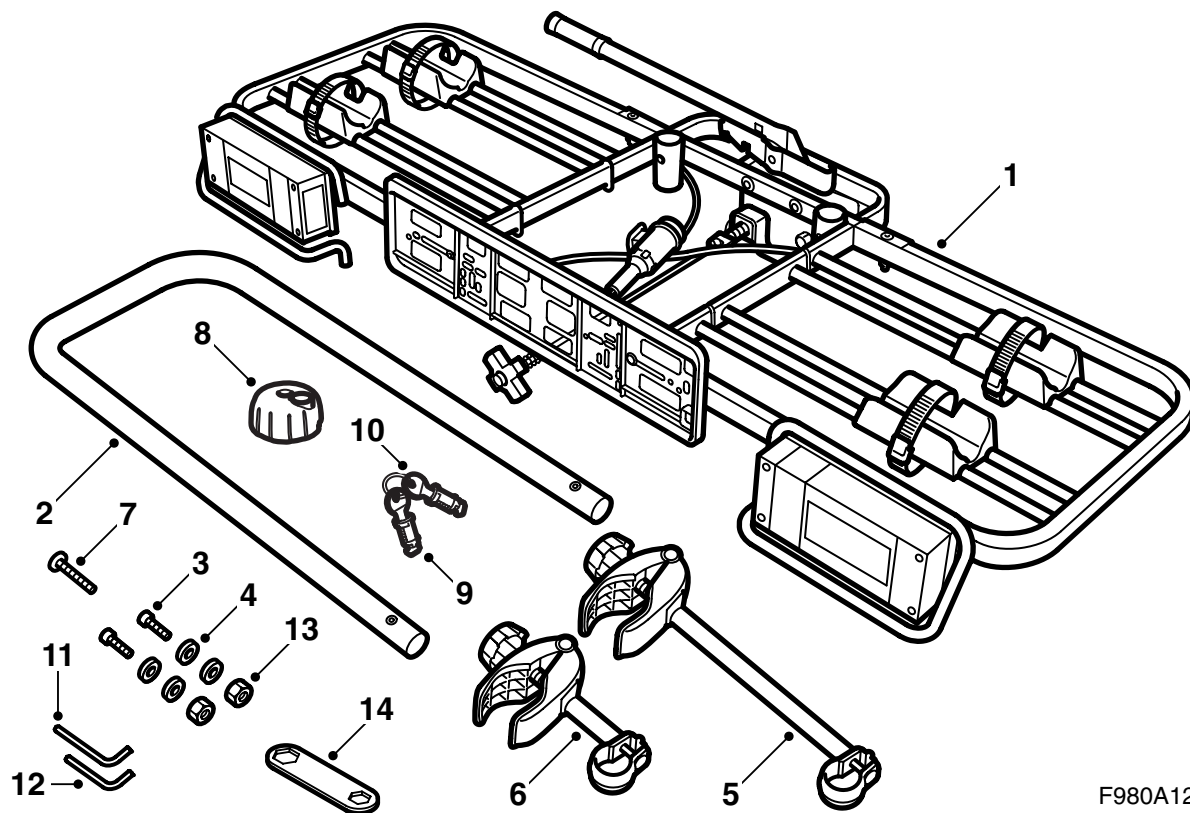
Saab 9-3, Saab 9-5

サイクルキャリア (けん引装置取り付け用)

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 788 485 400 131 181	9:89-12	Mar 03	12 792 688 (55 20 762)	12 792 688 Nov 02



F980A121



F980A122

- 1 サイクルキャリア
- 2 フレーム
- 3 ボルト (x2)
- 4 ワッシャー (x4)
- 5 ホルダー (長)
- 6 ホルダー (短)
- 7 ボルト
- 8 ノブ
- 9 ロック (x2)
- 10 キー (x2)
- 11 L形六角棒レンチ M5
- 12 L形六角棒レンチ M6
- 13 ナット M6 (x2)
- 14 六角キー

重要事項

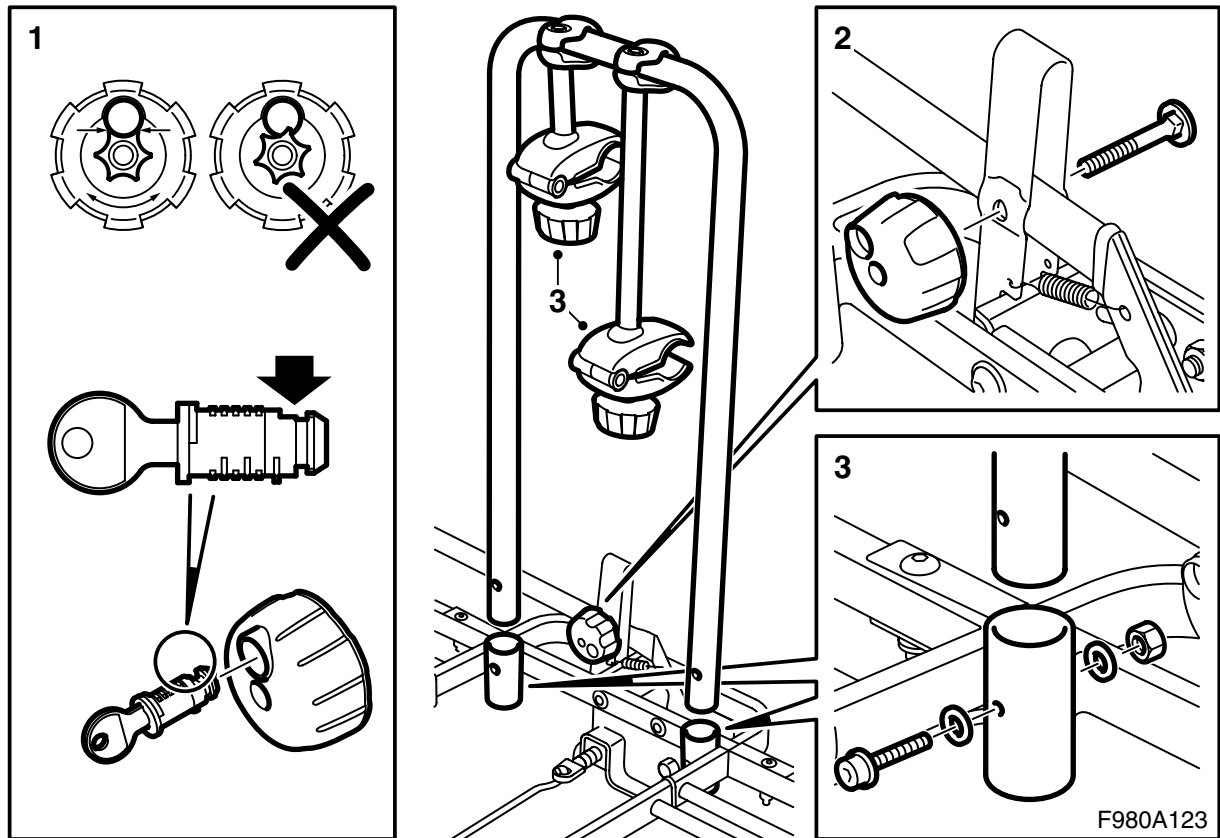
警告

サイクルキャリアを使用する前に、この取り付け説明書を最後までよくお読み下さい。サイクルキャリアの取り付けは説明書に従ってのみ行い、また説明書は車内に常備しておいて下さい。

サイクルキャリアを取り付けて走行する際には、キャリアの重量や配置によって、車の重心および空力特性が変化する場合があります。この点を考慮して走行速度を調整して下さい。

サイクルキャリアに配置する前に、例えばチャイルドシートやサイクリングバッグなど、脱落の恐れがあるパーツは自転車から取り外して下さい。

- サイクルキャリア本体の重量は 16 kg です。
許容最大積載量は 45 kg です。
- サイクルキャリアは、正しい方向に配置され、確実に取り付けられているという前提の下で、安全な運搬ができるように設計されています。**この製品を改造しないで下さい。**
- 常に積荷の固定状態をよく確認して下さい。
- 走行開始前に、必ずライトの機能を確認して下さい。
- サイクルキャリア使用に際しては、車両全長に特に留意して下さい。自転車の形状やサイズによっては、車両の全幅、全高にも影響を及ぼす場合があります。
- タンデムは積載してはいけません。
- サイクルキャリアは、清掃および保守を行う必要があります。特に冬季には、汚れや塩をよく取り除いて下さい。ボルト、ナット、及びロックには、定期的に給脂して下さい。
- 安全上の理由と燃費節約のため、使用しないときにはサイクルキャリアを外して下さい。
- 洗車機で車を洗う前には、サイクルキャリアを取り外して下さい。
- 取り付け説明書は車内に常備しておいて下さい。



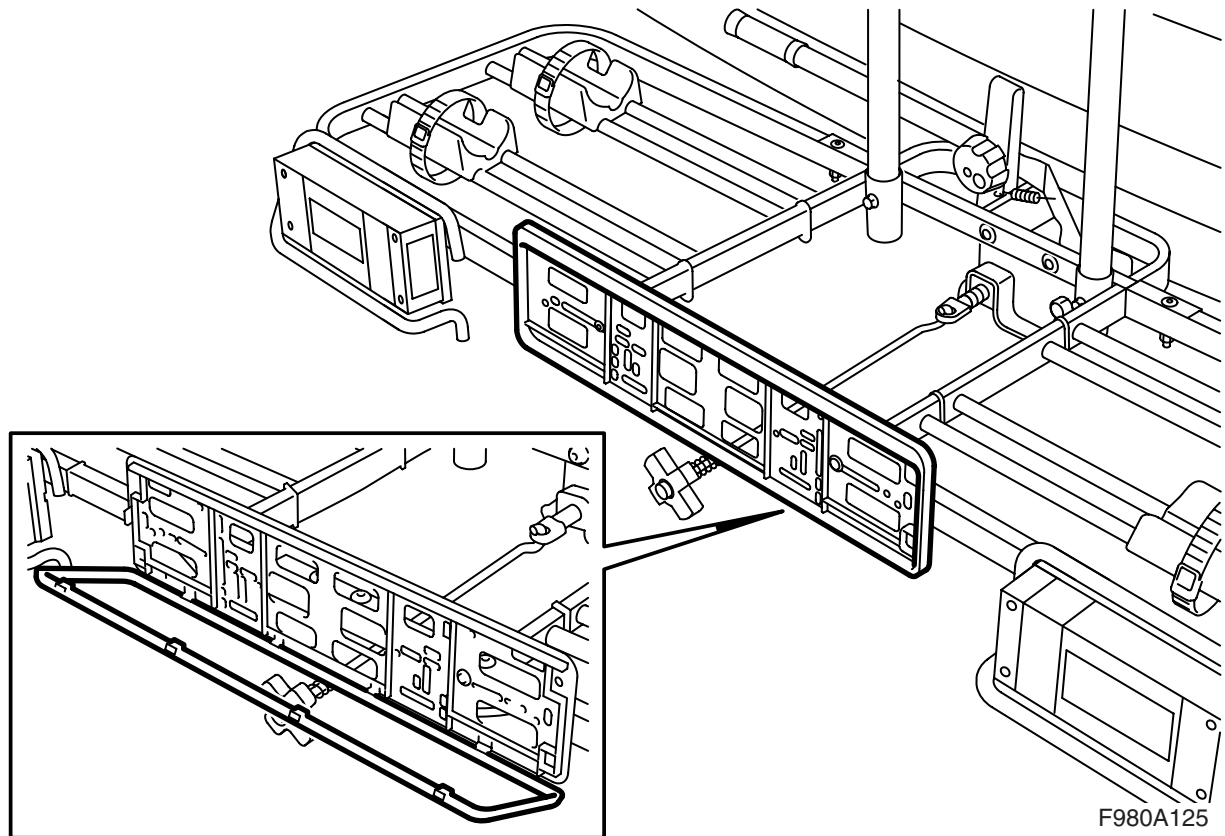
組み付け

- 1 ロックシリンダーをロックノブ内に取り付ける。

重要事項

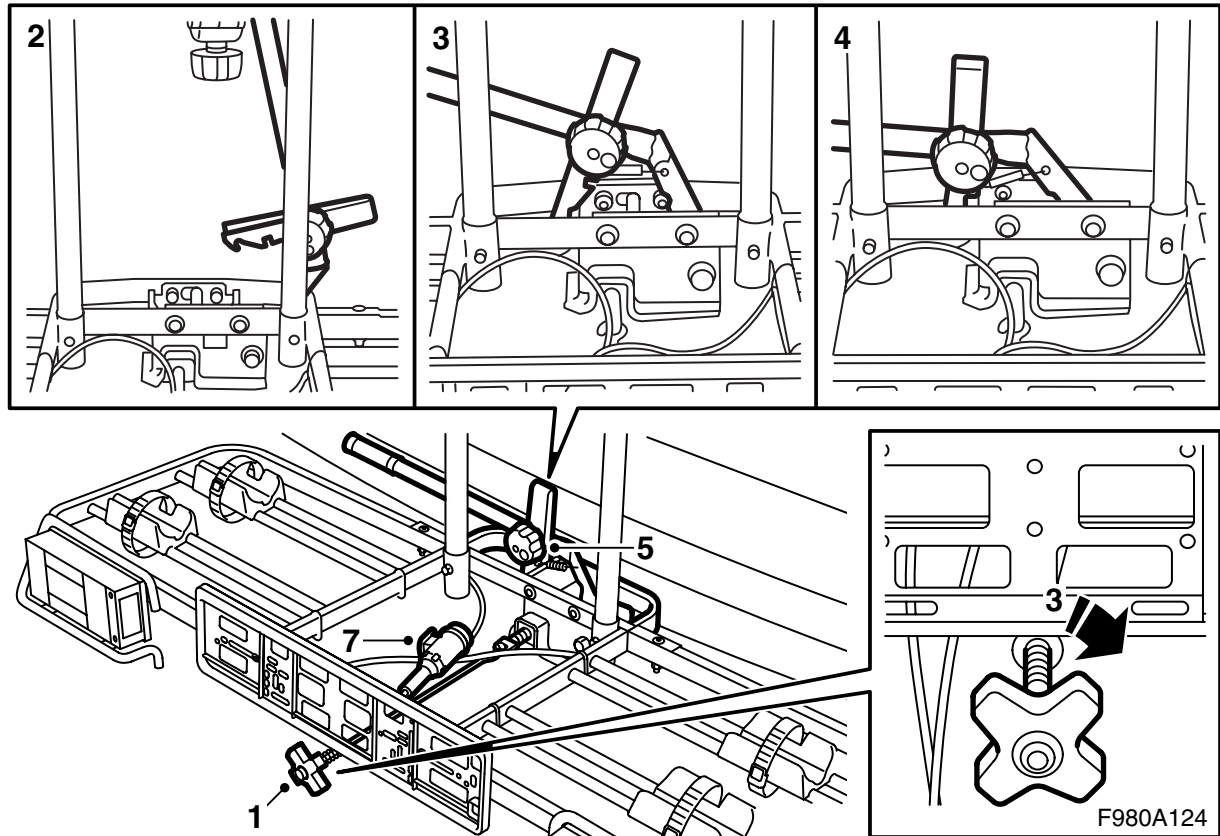
ロックノブ内のラッチワッシャーは、穴のエッジと形状が一致する位置まで回転させておく必要がある。必要があればラッチワッシャーを回転させる。

- 2 ロックフックを起し、アームにはめ合わせる。ボルトをはめ合わせ、ノブを取り付ける。
- 3 各ホルダーをフレームに取り付け、フレームをサイクルキャリアの各取り付け具に取り付ける。



ライセンスプレートの取り付け

プレートホルダーの 4 箇所のキャッチを押し下げ、ホルダーフレームを倒す。ライセンスプレートを取り付け、フレームを元通り起こす。



けん引装置への取り付け

- 1 スプリング負荷がなくなるところまでチルトノブを反時計回りに回す。
- 2 アームを完全に起こし、サイクルキャリアを持ち上げてけん引装置上に配置する。
- 3 アームをロックフックの最初のノッチまで倒し、水平位置までサイクルキャリアを持ち上げて、チルトノブを締め付ける。
- 4 アームをロックフックの一番下の位置まで倒すが、少々重く感じられる必要がある（抵抗は35-40 kg）。抵抗が感じられずに、あるいは、全然抵抗なくアームが倒せるときは、カウンターステアの調整が必要である。「コッキングレバー接触圧の調整」を参照のこと。
- 5 ノブをしっかり締め付け、ロックする。キーを抜き取る。

重要事項

キーが損傷する可能性があるため、絶対にキーを錠に残したままにはしてはならない。

- 6 サイクルキャリアがしっかり固定されていることを確認する。必要に応じてチルトノブを締め付ける。



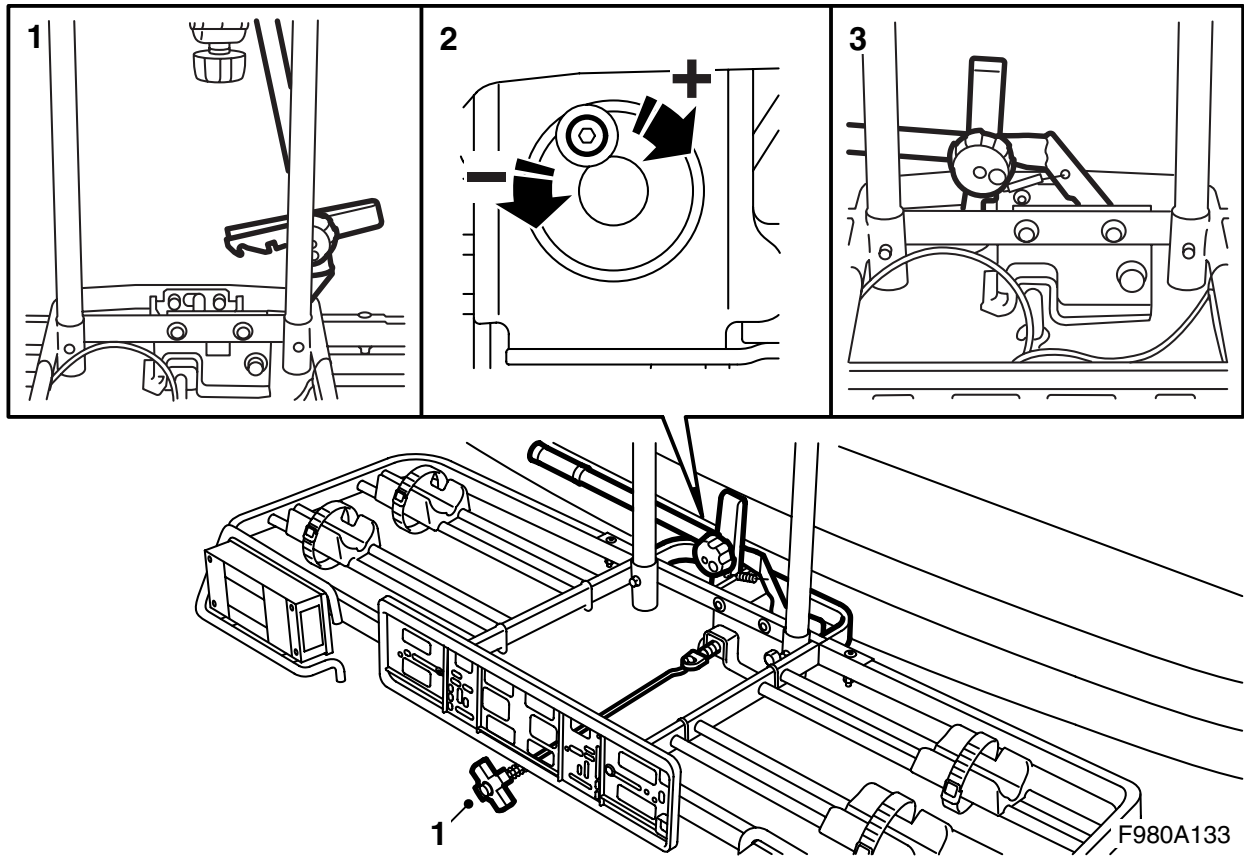
警告

サイクルキャリアが確実にしっかり固定されていることを確認する。

- 7 コネクターを接続する。

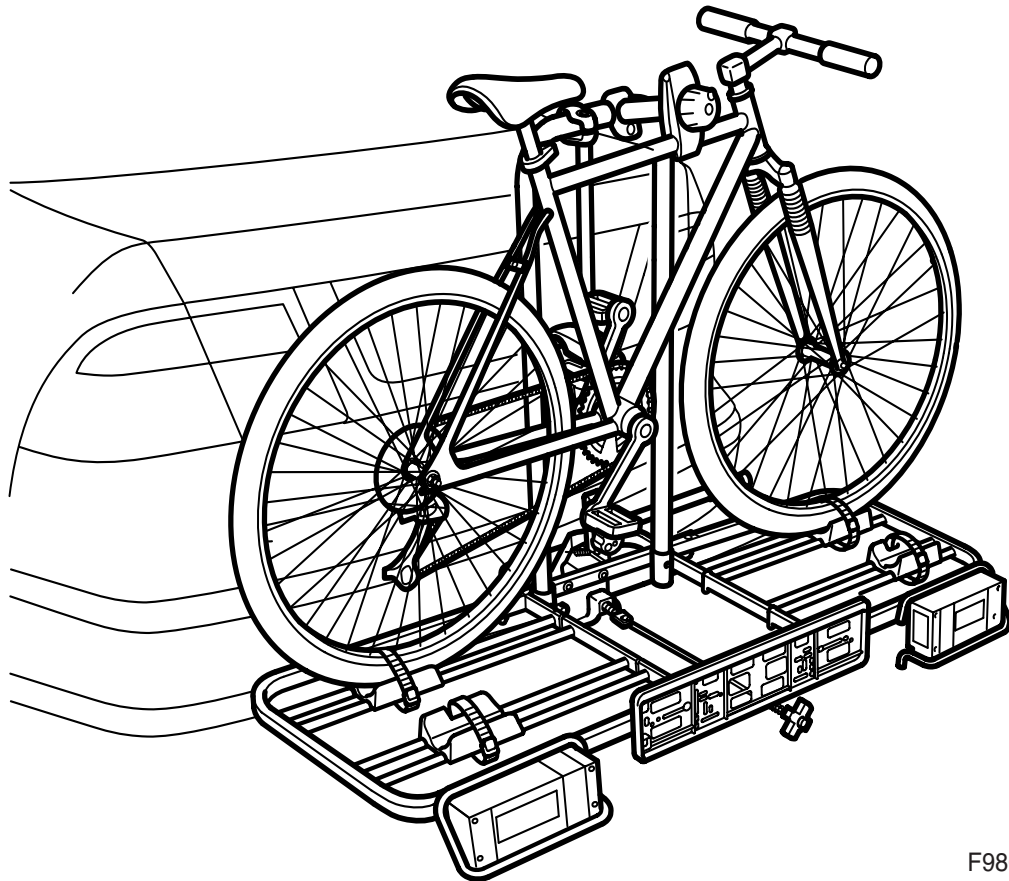
けん引装置からの取り外し

- 車のコンセントから電気接続を取り外す。
- ロックノブをアンロックし、ロックフックの留めを外してアームをロックフックの最初のノッチまで移せるように、ロックノブを緩める。スプリングの負荷がなくなるところまで、チルトノブを反時計回りに回す。
- サイクルキャリアを倒し、アームを完全に起す。
- サイクルキャリアを持ち上げて取り除く。



コッキングレバー接触圧の調整

- 1 アームを完全に起こし、スプリング負荷がなくなるところまでチルトノブを反時計回りに回す。
- 2 ボルトを緩め、抵抗なくアームが倒せるときはカウンターステアを時計回りに回し、アームが倒せない場合には半時計回りに回す。ボルトをしっかり締め付ける。
- 3 アームをロックフックの一番下の位置まで倒すが、少々重く感じられる必要がある（抵抗は35-40 kg）。抵抗が感じられずに、あるいは、全然抵抗なくアームが倒せるときは、手順2に従ってカウンターステアの調整をさらに行わなければならない。チルトノブを締め付ける。



F980A134

サイクルキャリア上の自転車配置方法

サイクルキャリアは、自転車の積載を容易にするためにチルトダウンができる。これにはまずロックノブを緩め、ロックフックの留めを外して、アームをロックフックの最初のノッチまで移動させる。それからチルトノブを反時計回りに回せば、サイクルキャリアを適正角度に傾けることができるようになる。

- 1 前輪が右側となるようにして最初の自転車を配置し、自転車の配置位置にぴったり合うように各ホイールホルダーを移動させる。

重要事項

複数の自転車を積載するときは、重いほうの自転車を必ず奥に配置しなければならない。

単数の自転車を積載するときは、必ず奥に配置しなければならない。

サイクルフレームのできるだけ高い位置にホルダーを固定し、ノブをしっかり締め付ける。

- 2 前輪が左側となるようにして2台目の自転車を配置し、自転車の配置位置にぴったり合うように各ホイールホルダーを移動させる。サイクルフレームのできるだけ高い位置にホルダーを固定し、ノブをしっかり締め付ける。
- 3 各ホイールをしっかり締結する。

自転車を積載する際にサイクルキャリアをチルトダウンさせていた場合は、走行を開始する前にこれをチルトアップする必要がある。これにはまずサイクルキャリアを水平位置までリフトアップし、チルトノブを締め、アームをロックフックの一番下の位置まで倒し、ロックノブを締めてロックする。キーを抜き取る。

重要事項

キーが損傷する可能性があるため、絶対にキーを錠に残したままにはしてはならない。

サイクルキャリアがしっかり固定されていることを確認する。必要に応じてチルトノブを締め付ける。



警告

サイクルキャリアが確実にしっかり固定されていることを確認する。

重要事項

9-3 CV M04- ソフトトップの開閉操作をする際に、車体に一番近い位置に積載された自転車にソフトトップが当たってしまう場合がある。このためサーブ社では、ソフトトップの操作を開始する前に自転車を取り外すことを勧める。